

# 東北地方 1か月予報

(1月4日から2月3日までの天候見通し)

平成15年1月3日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

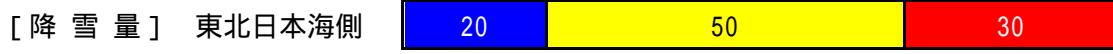
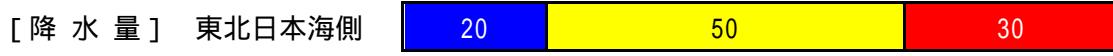
期間を通して冬型の気圧配置が現れやすいでしょう。

平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並の見込みです。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は低い、3~4週目は平年並か低いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 1月 4日(土) ~ 2月 3日(月)

1週目 : 1月 4日(土) ~ 1月 10日(金)

2週目 : 1月 11日(土) ~ 1月 17日(金)

3~4週目 : 1月 18日(土) ~ 1月 31日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日14時30分 次回は1月10日

3か月予報:1月20日(月)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間, 降雪量と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	0.6	45.4	150.4	17	1.4	0.8	0.2
新庄	-1.4	181.5	43.9	-----	-0.8	-1.3	-1.7
若松	-0.8	81.1	82.8	135	-0.1	-0.7	-1.1
深浦	-0.5	94.3	32.6	75	0.4	-0.2	-0.9
青森	-1.5	147.4	58.3	279	-0.8	-1.3	-1.9
むつ	-1.7	93.6	79.0	-----	-0.9	-1.4	-2.1
八戸	-1.2	50.1	135.7	41	-0.5	-1.0	-1.6
秋田	-0.2	112.2	47.4	101	0.6	0.0	-0.5
盛岡	-2.2	51.3	126.7	62	-1.5	-2.0	-2.5
宮古	0.1	56.3	164.2	25	0.9	0.4	-0.3
酒田	1.3	149.7	41.4	86	2.1	1.5	0.9
山形	-0.6	77.1	91.1	116	0.0	-0.5	-0.9
仙台	1.4	34.5	154.0	22	2.0	1.6	1.0
石巻	0.4	35.6	169.6	8	1.1	0.7	0.1
福島	1.3	46.0	139.2	42	2.0	1.5	1.0
白河	0.1	30.9	163.8	-----	0.7	0.2	-0.3
小名浜	3.5	48.8	191.6	0	4.1	3.6	3.1

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.7	75~107	96~107	83~103
東北日本海側	-0.4~+0.7	91~107	93~111	88~119
東北太平洋側	-0.4~+0.8	61~104	96~105	69~98

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.7	-0.8~+0.8	-0.5~+0.8
東北日本海側	-0.7~+0.7	-0.8~+0.8	-0.5~+0.8
東北太平洋側	-0.6~+0.8	-0.7~+0.8	-0.6~+0.9

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成15年1月3日 仙台管区気象台

## 1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(1月4日~2月3日) :

期間を通して冬型の気圧配置が現れやすいでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

平均気温は低いでしょう。

1週目(1月4日~1月10日) :

期間の前半は冬型の気圧配置となり東北日本海側では雪の日が多く、東北太平洋側では晴れる日が多いでしょう。期間の終わり頃には、気圧の谷の影響で曇りの所が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(1月11日~1月17日) :

冬型の気圧配置となる日が多く、一時強まるでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

平均気温は低いでしょう。

3~4週目(1月18日~1月31日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

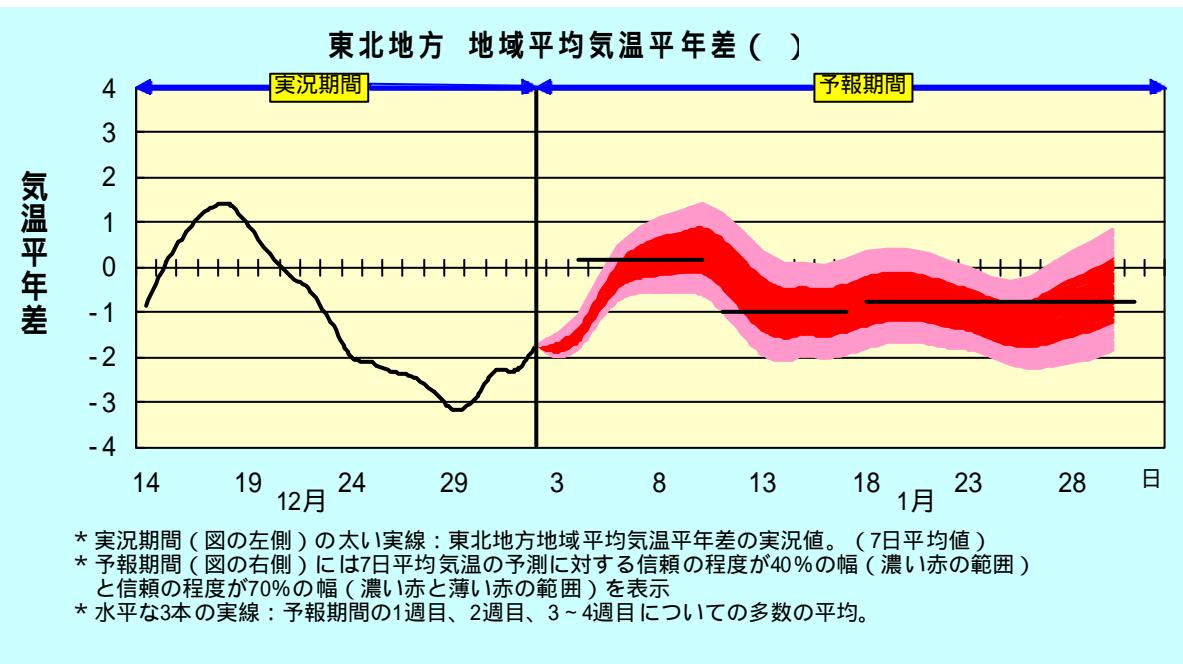
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	4.7日	1.0日	1.2日	2.5日
東北太平洋側	18.0日	4.2日	4.6日	9.2日

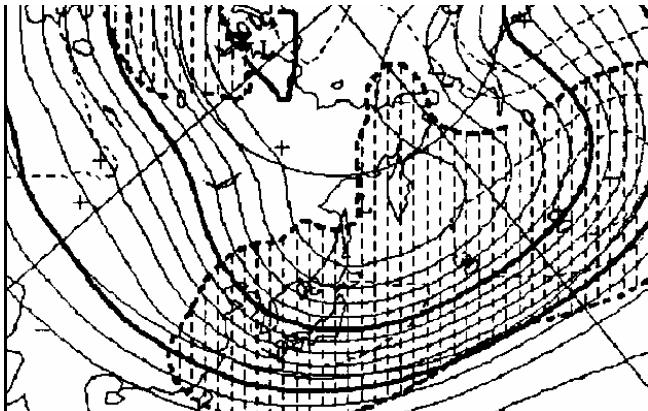
## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目が「平年並」、2週目と3~4週目は「低い」を予測している。予報は、その他の資料から3~4週目を「平年並か低い」に変更するほかは数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



### 3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

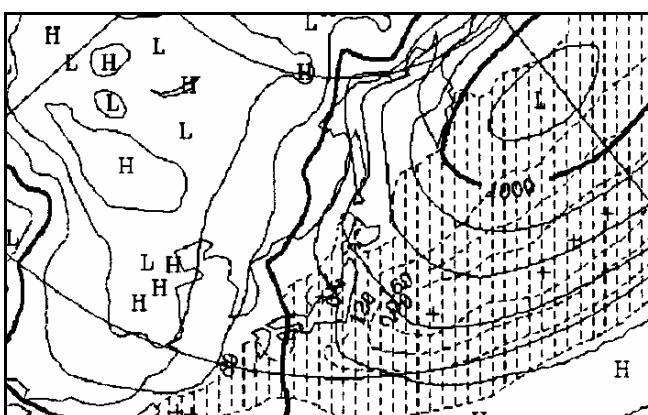


月平均の 500hPa 高度・偏差  
等高度線 : 60m 每、偏差 : 30m 每、陰影部 : 負偏差

#### 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、カムチャツカ半島付近に気圧の谷があり、太平洋北部から日本付近は負偏差に覆われる。一方、バイカル湖付近は正偏差で、日本付近に寒気が入りやすい形となる。

週別（図略）では、1週目は日本の東海上と中国東北区が正偏差となり、日本付近の負偏差は弱まる。2週目は、オホーツク海に極渦が進み、日本付近の負偏差はやや強まり、3~4週目も月平均と同様に太平洋北部から日本付近は負偏差に覆われる。



月平均の地上気圧と降水量  
等圧線 : 4hPa 每、降水量 : 40mm 每、陰影部 : 80mm 以上

#### 地上気圧と降水量

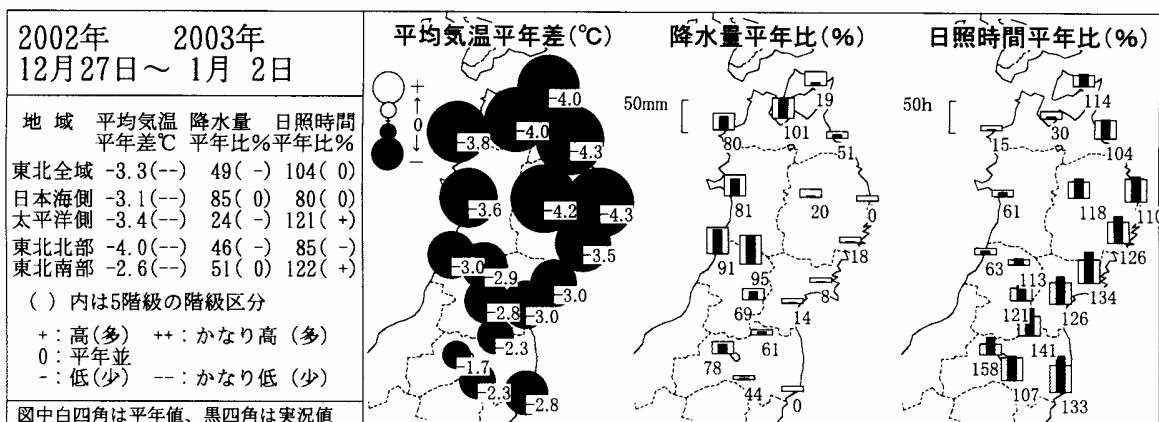
月平均で見ると、ほぼ平年と同様の冬型の気圧配置で日本海側に降水域が予想される。また、日本の南岸の気圧の谷がやや明瞭だが、まとまった降水域は本州の南海上が中心。

週別（図略）では、各週ともほぼ平年と同様の冬型の気圧配置が続く。

### 4. 最近1週間（12月27日～1月2日）の天候の経過

冬型の気圧配置が続き、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では南部を中心に概ね晴れた。27日に強い寒気の影響により各地で真冬日となったのをはじめとして、気温の低い日が多かった。

平均気温は、東北地方で平年差-3.3とかなり低かった。降水量は、東北日本海側で平年比85%と平年並、東北太平洋側で平年比24%と少なかった。日照時間は、東北北部で平年比85%と少なく、東北南部で平年比122%と多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）